

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版)					履修形態	必修
	Repeat 数学Ⅱ+B (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等		高校2年生で学習する内容を先取り学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る (数学Ⅱ終了後、数学Bの教科書へ移行予定)					
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第1節 三角関数					
	後期	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数対数と対数関数 第6章 微分法と積分法 数学B 第1章 平面上のベクトル					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、月例テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点 以上の2点を総合的に判断して評価する						
教師からの メッセージ	受け身になることなく、自ら学ぶ姿勢を忘れずに学習に取り組んでください そのための授業・サポートを全力で行います						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	数学Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学Ⅰ・数学A (数研出版)					履修形態	必修
	Repeat 数学Ⅰ+A (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等		数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習計画	前期	第1章 数と式 第2章 命題と集合 第3章 二次関数					
	後期	第4章 図形と計量 第5章 データの分析 数学Ⅰ終了後、数学Aに移行します。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						

教師からのメッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。
------------	-----------------------------------

教科名	数学	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 選抜コース
科目名	数学Ⅰ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編数学Ⅰ (数研出版)					授業形態	一斉授業
						科目の目標 ※目標資格等	
学習計画	前期	第1章 数と式                      第2章 集合と命題                      第3章 2次関数					
	後期	第4章 図形と計量                      第5章 データの分析					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に、豆テスト、宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う						
教師からの メッセージ	予習・授業・復習のサイクルをきちんと行ってください。特に、毎日の予習・復習をしっかりやることが大切です。						

教科名	数学	履修学年	1	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース
科目名	数学Ⅰ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学Ⅰ (数研出版)					授業形態	一斉授業
						科目の目標 ※目標資格等	
学習計画	前期	第1章 数と式                      第2章 集合と命題 (中学校の学びなおしを行いながら)					
	後期	第3章 2次関数                      第4章 図形と計量 (中学校の学びなおしを行いながら)					

評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、普段の授業、提出物その他を総合的に判断して評価します。
教師からの メッセージ	予習をし、1時間1時間の授業を大切に、授業後は復習を行ってください。この3つのサイクルを確立してしっかりと知識を習得し、学力の向上を目指しましょう。

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学B						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B 数学III [数研出版]					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学I～Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学B 第3章 数列 数学III 第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第3章 関数					
	後期	数学III 第3章 関数 第4章 極限 第5章 微分法 第6章 微分法の応用 第7章 積分法とその応用					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	数学B						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学II [数研出版] 高等学校 数学B [数研出版] 3 T r i a l 数学II + B [数研出版]					履修形態	必修
						授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学I・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習	前期	数学IIの内容を実施する					

計画	後期	数学Ⅱ終了後、数学Bに移行します。 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル 第3章 数列
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。	
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。	

教科名	数学	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Iコース
科目名	数学B						
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版) 基本と演習テーマ数学Ⅰ+A、Ⅱ+B (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Aの内容を実施し、終了後に数学Ⅱの内容を実施します。						
学習計画	前期	数学Aの内容を実施します。数学Ⅱと数学Bを合わせて6単位で授業を行います。数学Aが終了後に数学Ⅱの内容に入ります。 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
	後期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数					
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、豆テスト、予習・復習、宿題、提出物、授業態度などその他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	予習・復習をし、1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。さらに問題集などで力をつけましょう。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 IIIコース
科目名	数学A						
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学Ⅰ [数研出版] 改訂版 最新 数学A [数研出版] 3ROUND 数学Ⅰ+A (数研出版)					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						

学習計画	前期	数学Ⅰ 第3章 2次関数 第4章 図形と計量
	後期	数学Ⅰ 第5章 データの分析 数学A 第1章 場合の数と確率
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他総合的に判断して評価する。	
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。	

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	文系数学演習						
教科書及び 使用教材等	リンク数学演習ⅠA＋ⅡB(数研出版)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	難関大学志望者に対する文系数学の重要性を踏まえ、センター試験対策だけに留まらず、 数学の本質を考えさせながら国公立2次・私大記述対策を見据えた演習を実施する						
学習計画	前期	リンク数学演習を使用し、数学ⅠA・ⅡBの弱点強化及び復習を行います。					
	後期	センター試験対策・基礎問題演習 センター試験対策・実践問題演習 適宜、模擬試験の復習なども実施予定					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、確認テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点  以上の2点を総合的に判断して評価する						
教師からの メッセージ	志望校の目標得点率を目指し、基礎的な力をしっかりと身につけ、初めて見る問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身につけていきましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	数学Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B [数研出版] 高等学校 数学Ⅲ [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業

科目の目標 ※目標資格等		数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。
学習計画	前期	数学B 第3章 数列 数学Ⅲ 第2章 式と曲線 第3章 関数 第4章 極限 第5章 微分法
	後期	第6章 微分法の応用 第7章 積分法とその応用 理系数学演習に移行します。
評価の観点 評価の方法		定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。
教師からの メッセージ		1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。

教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	理系数学演習					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	内容未定					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等		センター試験、2次試験に向け、効果的に演習をする。					
学習計画	前期	数学Ⅲの内容を実施する。					
	後期	上記 問題集を使用し、センター試験の向け、効果的に演習を行います。					
評価の観点 評価の方法		定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。					
教師からの メッセージ		1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。					

教科名	数学	履修学年	3	単位数	2	履修課程	普通 課程
-----	----	------	---	-----	---	------	-------

科目名	数学Ⅱ		(コース)	I	コース
教科書及び 使用教材等	新編 数学Ⅱ [数研出版]		履修形態	必修	
	新編 数学B [数研出版]		授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	微分積分、数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				
学習計画	前期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法			
	後期	第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル			
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。				
教師からの メッセージ	数列は、いろいろな規則性を見出します。ひらめきは必要ありません。地道に解析する力が必要です。ベクトルは、今までの数学の表現方法とは違った表現です。数字だけの思考より数学の可能性が広がります。				

教科名	数学	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 III	課程 コース
科目名	数学活用							
教科書及び 使用教材等	最新数学A [数研出版		就職試験基本ガイド[増 進堂]		数学活用 [実教出 版]	履修形態	必修	
						授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Aにおける基本的な内容の理解及び就職試験における知識の定着、更に数学と人間とのかかわりや数学の有用性についての認識を深めることを目標とします。							
学習計画	前期	第2章 図形の性質		第3章 整数の性質		就職試験の対策		
	後期	数学活用 第1章 身の回りの数学		第2章 社会生活と数学		第3章 数学の発展と人間の活動		
評価の観点 評価の方法	定期考査、校内選考テスト、普段の授業態度、提出物などを踏まえ総合的に判断し評価します。							
教師からの メッセージ	毎回の授業を大切にし確実に知識を定着するようにしましょう。							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	数学 A						
教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学Ⅱ・数学B (数研出版)					履修形態	必修
	Repeat 数学Ⅱ+B (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等		高校2年生で学習する内容を先取り学習することで、基礎基本の定着だけでなく応用力を備えた学力の定着を図る (数学Ⅱ終了後、数学Bの教科書へ移行予定)					
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第1節 三角関数					
	後期	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数対数と対数関数 第6章 微分法と積分法 数学B 第1章 平面上のベクトル					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、月例テストなどのテスト点 授業ノート、平日課題ノート、宿題状況、授業態度などの平常点 以上の2点を総合的に判断して評価する						
教師からの メッセージ							

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	数学 A						
教科書及び 使用教材等	改訂版 高等学校 数学Ⅰ・数学A (数研出版)					履修形態	必修
	Repeat 数学Ⅰ+A (数研出版)					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等		場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習計画	前期	数学Ⅰの内容を実施する。					
	後期	数学Ⅰ終了後、数学Aの内容に移行する。 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。						



教師からのメッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。
------------	-----------------------------------

教科名	数学	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 選抜コース
科目名	数学A					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編数学A(数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Aの基礎から応用まで幅広い知識や基礎力を身に付け、一般受験に対応できる生徒を育てることを目標とする。						
学習計画	前期	数学Iを行う					
	後期	(数学Iが終了後、数学Aを行う) 第1章 場合の数と確率					
評価の観点 評価の方法	定期考査、単元テスト、基礎力診断テストを中心に、豆テスト、宿題の提出、予・復習のチェックなどを総合的に判断して行う						
教師からの メッセージ	学校で言われたことをきちんと行ってください。特に、毎日の宿題の提出と毎時間の豆テストをしっかりとやるのが大切です。						

教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	数学II					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B 数学III [数研出版]					授業形態	習熟度授業
科目の目標 ※目標資格等	数学I～Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学B 第3章 数列 数学III 第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第3章 関数					
	後期	数学III 第3章 関数 第4章 極限 第5章 微分法 第6章 微分法の応用 第7章 積分法とその応用					

評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。

教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	特別進学 課程	
科目名	数学Ⅱ							
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅱ [数研出版]					履修形態	必修	
	高等学校 数学B [数研出版] 3 T r i a l 数学Ⅱ + B [数研出版]					授業形態	習熟度授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・Aの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。							
学習計画	前期	第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数						
	後期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法 数学Ⅱ終了後、数学Bに移行します。						
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。							
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。							

教科名	数学	履修学年	2	単位数	4	履修課程 (コース)	普通 課程	
科目名	数学Ⅱ						Ⅰ コース	
教科書及び 使用教材等	改訂版 新編 数学A (数研出版)					履修形態	必修	
	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版) 基本と演習テーマ数学Ⅰ + A、Ⅱ + B (数研出版)					授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Aの内容を実施し、終了後に数学Ⅱの内容を実施します。							
学習	前期	数学Aの内容を実施します。数学Ⅱと数学Bを合わせて6単位で授業を行います。数学Aが終了後に数学Ⅱの内容に入ります。 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質						

計画	後期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数
評価の観点 評価の方法	定期考査、基礎力診断テスト、豆テスト、予習・復習、宿題、提出物、授業態度などその他を総合的に判断して評価します。	
教師からの メッセージ	予習・復習をし、1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。さらに問題集などで力をつけましょう。	

教科名	数学	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅱコース
科目名	数学Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	改訂版 最新 数学Ⅰ [数研出版]					履修形態	必修
	改訂版 最新 数学A [数研出版] 3ROUND 数学Ⅰ+A (数研出版)					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	高校の数学の初歩的な内容の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学Ⅰ 第3章 2次関数 第4章 図形と計量					
	後期	数学Ⅰ 第5章 データの分析 数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。						
教師からの メッセージ	予習・復習を行い、1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	数学Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学Ⅲ [数研出版]					履修形態	選択
	3 T r i a l 数学Ⅲ [数研出版] クリアー数学演習ⅠAⅡB [数研出版]					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						

学習計画	前期	数学Ⅲ 第5章 微分法 第6章 微分法の応用 第7章 積分法とその応用 数学Ⅲ終了後、ベーシックスタイル数学Ⅲを進めます。
	後期	ベーシックスタイル数学Ⅲ終了後、クリアー数学ⅠAⅡBⅢの演習を進めます。
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。	
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。	

教科名	数学	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	理系数学演習						
教科書及び 使用教材等	新編 数学Ⅲ [数研出版] ベーシックスタイル数学Ⅲ [数研出版] クリアー数学ⅠAⅡBⅢ [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。						
学習計画	前期	数学Ⅲの内容を実施します。					
	後期	数学Ⅲの内容を実施します。					
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。						
教師からの メッセージ	教科書の問題のみならず、全国模試や、入試問題にも積極的に臨みましょう。						

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	文系数学演習						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B [数研出版] 3 T r i a l 数学Ⅱ+B [数研出版] 基本と演習 P L A N 1 0 0 (数研出版)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業

科目の目標 ※目標資格等		難関大学志望者に対する文系数学の重要性を踏まえ、センター試験対策だけに留まらず数学の本質を考えさせながら、国公立2次・私大記述対策を見据えた演習を実施する。
学習計画	前期	リンク数学演習ⅠA＋ⅡB(数研出版)を実施予定
	後期	センター試験対策基礎・実践問題演習 適宜、模擬試験の復習なども実施予定
評価の観点 評価の方法		定期考査、単元テストなどのテスト点 授業ノート、小テスト、宿題状況、授業態度のどの平常点 以上2点を総合的に判断して評価する。
教師からの メッセージ		志望校の目標得点率を目指し、所見の問題でも自分の知識を活用しながら突破していく方法を身に付けていきましょう。

教科名	数学	履修学年	3	単位数	5	履修課程 (コース)	普通   コース
科目名	数学Ⅲ						
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅲ [数研出版]					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等		数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの学習を踏まえ、より高度な内容の数学の理解を目標とします。					
学習計画	前期	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第3章 関数 第4章 極限					
	後期	第5章 微分法 第6章 微分法の応用 第7章 積分法とその応用					
評価の観点 評価の方法		定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価します。					
教師からの メッセージ		1時間1時間の授業を大切に、しっかりとした知識を習得しましょう。					

教科名	数学	履修学年	3	単位数	4	履修課程	普通   コース
-----	----	------	---	-----	---	------	----------------

科目名	数学Ⅱ	(コース)	Ⅱ	コース
教科書及び 使用教材等	最新 数学Ⅱ (数研出版)	履修形態	必修	
		授業形態	一斉授業	
科目の目標 ※目標資格等	数学Ⅱについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			
学習計画	前期	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式		
	後期	第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法		
評価の観点 評価の方法	定期考査、普段の授業態度、提出物、その他を総合的に判断して評価する。			
教師からの メッセージ	1時間1時間の授業を大切にし、しっかりとした知識を習得しましょう。			

教科名	数学	履修学年	2	単位数	6	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	文系数学演習						
教科書及び 使用教材等	高等学校 数学B (数研出版) グリーンフレキシブル (旺文社)					履修形態	選択
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	センター試験対策のための数学ⅠA・ⅡBの弱点強化及び復習を行う。						
学習計画	前期	数学B 第3章 数列 終了後 問題演習に移行します					
	後期	数学ⅠA・ⅡBの弱点強化及び復習					
評価の観点 評価の方法	定期考査・確認テスト・間違い直しレポートなど総合的に判断して評価をする。						
教師からの メッセージ	1年後の入試に向けて、自分の弱点や補強ポイントを自覚して取り組みましょう。						